

# タカセガイの種苗生産

島袋新功・渡慶次賀孝

## 1. 目的

タカセガイ(和名:サラサバティ)の種苗:殻径(5mm)を生産し,石垣市の中間育成礁へ各50万個体を供給する。

## 2. 方法

### 1) 採卵と孵化

採卵用親貝は恩納村漁協から購入した天然貝を使用し,前年度と同様に干出・生殖巣懸濁液刺激法で産卵誘発し,受精卵は1 kL 水槽へ収容してふ化させた。

### 2) 稚貝飼育

前年度と同様に,採卵翌日にふ化した浮游幼生は計数後に15kL 水槽へ収容し,幼生が稚貝に変態・7日後から約1回転・微通気,1ヵ月後から3回転/日・強通気で流水・通気して稚貝飼育を行った。

餌料の付着珪藻(天然珪藻)の培養,稚貝水槽への添加・や種苗の取り上げ・出荷等は前年度同様に行なった。しかし,天然珪藻の維持増殖はエコロングータル313-70を使用して行った。

## 3. 結果及び考察

今年度の出荷は(表1)のとおりである。

今年度の稚貝飼育の特徴は エコロングータルを施肥に使ったこと 移送をあまり行わなかったこと 底

掃除を行わなかったことである。今年度のタカセガイ種苗出荷数は568千個で十分な数であったが死貝が多く発生した。原因は貝落としをさぼったせいであると考えられる。今後も省力化のため移送及び底掃除を行わずに種苗生産を行うべきであるが,貝落としはこまめにやるべきであると考えられる。

表1. タカセガイの出荷

出荷先	年月日	数 *千個	殻径 mm
阿嘉島臨海研究所	H18.6.6	2.8	9.3
(社)水産土木建設技術センター	H18.6.27	6.5	8.8
石垣市	H18.12.6	220	8.5
石垣市	H19.3.6	208	8.2
(社)水産土木建設技術センター	H19.3.15	28	8.4
伊平屋村漁協	H19.3.30	103	14.9
計		568.3	-

## 参考文献

島袋新功,2001.タカセガイの種苗生産.平成13年度沖縄県栽培漁業センター事業報告書,p68-69.